

令和3年度 学校関係者評価結果

市川市立信篤小学校

		確かな学力	豊かな心	健やかな体	信頼される学校
1	実施重点	・基礎基本を重視し、求めて学ぶ児童を育てる学習指導の充実を図る。	・特別支援教育及び道徳教育の充実を図り、いじめ・不登校のない学校を目指す。	・自分の体に関心を持ち、体力向上・生活リズムの確立を図る。	・人の思いに寄り添うとともに、学校からの積極的な情報発信を目指す。
2	現状と課題	・児童は落ち着いて学習に取り組むものの、受け身であることが多く学ぶ姿勢が薄い。 ・家庭学習に関する捉え方、取り組み方が担任ごとに異なり、習慣化・定着化が進んでいない。	・あいさつに個人差や時期によるムラがある。 ・長欠や登校しぶりなど年間30日以上欠席者が昨年度は複数名おり、自分に自信を持っていない児童が多い。	・生活リズムが整わないため生活への悪影響が出ている児童が多い。 ・新体力テスト結果から、全学年とも合計点で全国平均を下回り、特に跳躍系種目が低い。	・学校からの情報は学校だよりやメールでの情報発信のみだった。 ・保護者の声に丁寧に耳を傾け、実現できるよう努めているが、安全面については課題がある。
3	具体的な方策	・タブレット端末を活用した学習を進めた。(4. 5. 6年) ・教科担任制による指導及び習熟度別少人数指導を進めた。 ・家庭での自主学習推進に向けて、全学年で取り組んだ。	・ユニバーサルデザインの視点に立った「わかる」「できる」授業実践を進めた。 ・教育相談、児童アンケート結果に基づく児童個々の実態把握と早期対応を全校で取り組んだ。	・ヘルシー部会を中心に、児童の規則正しい生活習慣確立に向けた取組を全学年で取り組んだ。 ・ヘルシー部会を中心に、長縄、短縄運動の推進に向けて全学年で取り組んだ。	・学校だよりを通じた学校の取組の周知、配付物の電子化、HP更新など全学年で取り組んだ。 ・登下校時の安全ボランティアの増員や横断旗設置など、PTAを中心に取り組んだ。
4	達成状況 5：十分達成できた 1：全くできなかった	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
		平均4. 1	平均4. 3	平均4. 3	平均4. 6
5	学校への意見	別紙参照			
6	市教委への意見	別紙参照			

【別紙】

「5 学校への意見」及び「6 市教委への意見」について

1 学校への意見

(1) 確かな学力について

- ・習熟度別少人数指導、専門講師の授業などきめ細かな指導を継続している成果が児童の姿に表れている。
- ・子供達が興味を持って取り組める仕掛けづくりができれば、さらに大きく伸びると思う。
- ・家庭学習は保護者のかかわり方もそれぞれ違うので習慣化・定着化は難しいと思うが、家庭学習の方法とねらいを理解できる子供達が増えることを願う。
- ・今後、タブレット端末導入が、児童の自ら主体的にそして意欲的に学ぶ姿勢に反映されていくことを期待している。
- ・学力を高めるには、一方的に教えるのではなく児童本人が積極的に学ぶことが大事である。進んで学べるツールの活用を期待したい。
- ・興味を持って学習に取り組む児童がやや少ないようである。
- ・保護者の回答の中で「家庭学習があまりできていない」の割合が高いことから、学力について不安や不安定な状況であることを感じる。子供達個々の生活環境を踏まえ、対処していく必要がある。
- ・子供達が学習に対して受け身であると感じる。先生方には魅力ある大人の代表として、あらゆる場面で子供の好奇心を引き出してほしい。

(2) 豊かな心について

- ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業実践が「わかりやすい授業」にもつながったのだろう。様々な制限がある中、先生方の創意工夫が伺える。
- ・いじめについては完全になくすことは困難であっても、早期対応が大事である。
- ・長欠や登校しぶりのある子供達への取組を引き続きお願いしたい。
- ・児童と会う機会があるが、はっきりとした挨拶ができています。受け取る側としても大変気持ちいい。豊かな心の第一歩は挨拶が基本だと思う。
- ・まずは、健康で元気な体をつくるのが大切であることから、食事や体力づくりに力を入れてほしい。
- ・肯定的な評価が高い。子供達が自分の役割に責任をもって取り組み、誰に対しても優しくしていると評価されている点が、日頃の指導の成果だと感じる。
- ・あいさつが苦手な子、登校しぶりの子などは様々な要因が考えられる。自分に自信を持ってない子供には、できたことを褒める指導もさらに取り入れてほしい。
- ・登下校時の見守りをする中で、きちんと挨拶をしてくれる子供が増えてとてもうれしく思う。中には、転居することが決まった子供が「今日までありがとう」とお礼を言ってくれたこともあった。これからは見守りを続けていこうと思う。
- ・挨拶は全ての基本である。挨拶の仕方など、マナーについて子供達と楽しく学ぶ機会をつくることも大切である。
- ・教育相談期間は子供の実態や本音を知るための有効な取組だと思うので、今後も継続してほしい。
- ・多様性を知り、他者を理解することは実体験から学んでいくと思う。4月からは小中一貫型小学校・中学校としてスタートするので、ブロック全体での触れ合いを少しずつ再開してほしい。

(3) 健やかな体について

- ・体力低下、スマホゲームなどからの睡眠不足や視力低下が気になる。

- ・家庭の問題かもしれないが、子供達の食生活や睡眠についてはやや不安を感じている。また、子供達が外で遊べる機会を地域全体で提供していければよいと思う。
- ・跳躍系種目の能力が全国平均より低い結果であるようだが、長縄跳び、短縄跳びに取り組んでいることから、継続することで改善していくと期待している。
- ・民生委員やボランティアパトロール、そして地域の方々の協力と連携のもと、学校との信頼関係の上で児童の登下校等の安全が守られていると感じている。
- ・地域の状況から交通事故が心配である。引き続き、安全指導を徹底してほしい。
- ・体を動かす機会として、毎日5分、業間休みや昼休みに音楽をかけての簡単なダンスやストレッチを行う活動などに取り組むことも必要である。
- ・登下校時や自転車乗車時の交通安全に向けて、左右を確認することや自分の身は自分で守る意識を、繰り返し子供達に伝えてほしい。

(4) 信頼される学校について

- ・見やすい学校だよりを含め、メールでの情報発信は年々早くなり状況確認ができていたので良い。
- ・保護者との距離感、地域との結びつきがもっと強くなればさらに良くなると思う。
- ・ホームページの更新などで学校の様子がわかることは安心感がある。特に「しんと君のねぎ畑ブログ」は素晴らしい。
- ・PTAや地域ともしっかりつながりをもって、引き続き様々なことに取り組んでほしい。
- ・常日頃から密接なコミュニケーションを保護者と図ることが大事である。児童と保護者あつての学校、信頼される学校である。
- ・県立高校、県立特別支援学校との交流も止めずに続けていってほしい。

(5) その他

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防の対策をしながら、前向きに工夫して日々の教育活動を行っていることに感謝している。
- ・寺子屋（まなびくらぶ）が廃止となるのが残念である。
- ・引き続き教育の基本的なところはぶれずに、かつ時代の流れの中で変化すべきところは柔軟に対応してほしい。
- ・高谷中ブロック小中一貫型小学校・中学校が目指す目標に向かって、学校とともに地域も協力できる体制をつくってほしい。
- ・これからの世の中は子供達に期待する面が大きい。大変だと思うが子供達の成長のために頑張ってもらいたい。
- ・いろいろなご意見があると思うが、小学校の思い出が最初の友達との出会いである。コロナ禍で大変だと思うが、子供達に一年一年、よい思い出をつくってあげてほしい。
- ・PTAだよりによるPTA活動の紹介は、とても分かりやすく保護者の心に響いていると思う。子供達の健やかな成長のためには、保護者、学校、地域の方々のどれかが欠けても影響があることをわかってもらいたい。そうすれば、お父さん会などのボランティアがさらに増えるのではないかなと思う。
- ・感染症感染予防を徹底し、感染者が出た際には早い段階で情報を提供してくれるので、保護者も含め大きな安心感を得られていると思う。引き続き情報提供を進めてほしい。

2 市教委への意見

- ・特になし